

# 重圧管



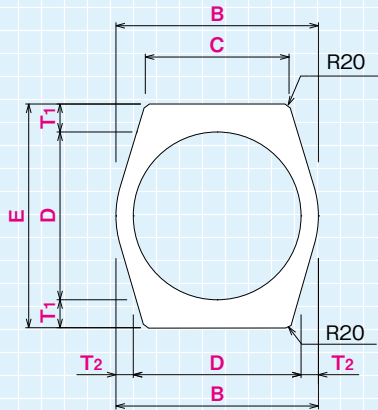
土被りが少ない場所でも、コンクリートによる巻き立てが不要な管渠製品で道路横断部の配水管に最適です。

## 特長

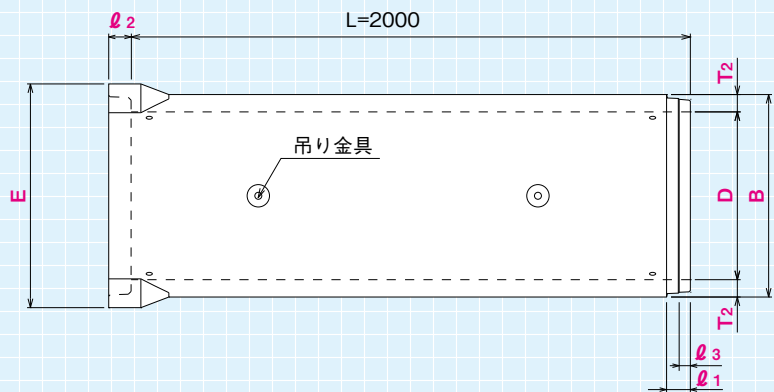


1. 自動車荷重T-25で土被りが少ない場所でも耐えるよう設計しています。
2. 管体の上下部が平らになっているため、安定性が良く施工が簡単です。
3. 管の継手部は、ヒューム管に準じた構造で、止水性に優れています。
4. 据付け後、埋戻しを完了すれば、すみやかに通行できます。

断面図



平面図



PRODUCT 重圧管



●寸法表

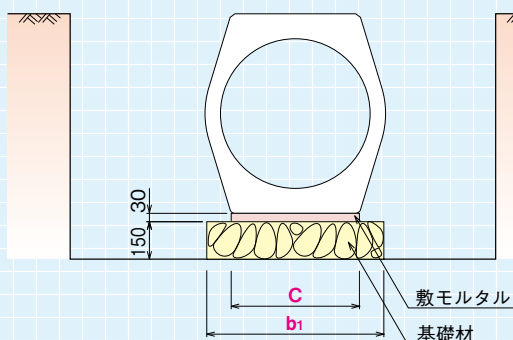
(単位：mm)

呼び名	D	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	B	C	E	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	参考質量 (kg)	適用土破り条件 (m)
φ 300	300	68	42	384	272	436	75	70	36	370	0.01 ~ 9.00
φ 400	400	80	50	500	354	560	80	75	36	580	0.04 ~ 7.50
φ 500	500	94	58	616	436	688				850	0.05 ~ 6.50
φ 600	600	100	62	724	514	800			36	1100	0.10 ~ 5.50
φ 700	700	119	69	838	594	938	85	80	40	1480	
φ 800	800	123	76	952	674	1046	95	90		1810	0.10 ~ 5.00
φ 900	900	134	85	1070	754	1168	100	95	40	2250	
φ 1000	1000	155	90	1180	840	1310	111	106		2820	

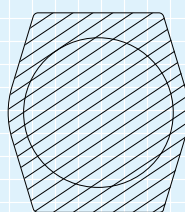
※高土被り対応製品もあります

■ 標準敷設寸法

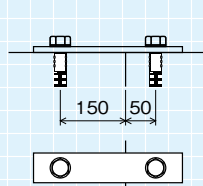
施工断面図



控除断面積



連結プレート詳細図



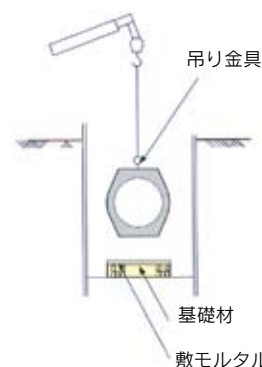
連結プレートの箇所数は、4箇所です。

●基礎数量表

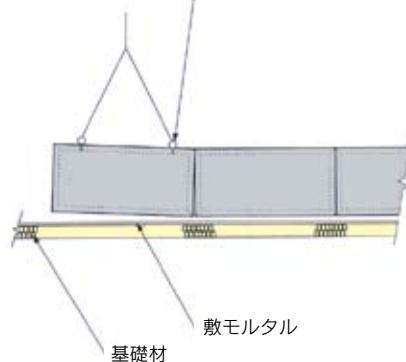
呼び名	b <sub>1</sub> (mm)	敷設材料 (10m 当り)			控除断面積 (m <sup>2</sup> )
		敷モルタル (m <sup>3</sup> )	基礎材 (m <sup>2</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	
φ 300	470	0.082	4.70		0.1458
φ 400	550	0.106	5.50		0.2441
φ 500	640	0.131	6.40		0.3695
φ 600	710	0.154	7.10	2.00	0.5059
φ 700	790	0.178	7.90		0.6857
φ 800	870	0.202	8.70	5.0	0.8691
φ 900	950	0.226	9.50		1.0897
φ 1000	1040	0.252	10.40		1.3508

■ 施工要領

1. 基礎材  
砕石等を用いて施工を行い、強固な基礎としてください。
2. 敷モルタル  
敷モルタルは基礎コンクリートの不陸を調整するために使用し、30mm施します。配合は、セメント1に対し、砂3の割合で、水を加えない空練モルタルとしてください。
3. 製品の据付け  
据付けは、現場により作業半径が異なりますが、製品質量の3倍程度の規格の重機を使用します。据付け方向は下流から上流へと設置します。
4. 接合  
継手部にはゴムリングを使用しています。滑材等を挿し口、受け口に塗布し、レバーブロック等で引き寄せて接合してください。必要に応じて、連結プレートより連結してください。尚、目地の外周に5mmの隙間を設けて、カーブ等に対応できるようにしています。
5. 埋戻し  
埋戻し、盛土のとき、過剰な土圧が作用しないように、頂部、側部は特に良質土を用いて、層の厚さを200～300mmずつ施工し、ランマー等で十分に締め固めてください。
- 6.完了  
完成検査を実施。



吊り金具 (デーハー)



●使用吊り金具 (デーハー)

呼び名	規格
φ 300～φ 400	1t用 (2ヶ)
φ 500～φ 800	2t用 (2ヶ)
φ 900～φ 1000	4t用 (2ヶ)